
いとしい君へ

広田 愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いとしい君へ

【Nコード】

N3266H

【作者名】

広田 愛

【あらすじ】

君えのメッセージ。いつもだいすきだよ。

(前書き)

かなり長いです^^

本当に好きなひとに当てての詩です。

みてればいいな☆

口コミで伝わらないかなあ^^

恋すること。

それは、私の中で最大の生きが이었다。

君に会うまでは。

あの日、それは冬休み。寝ぼけた顔を、一瞬で起こすインターホンの音。

あの時の君は、幼くって、身長は私より大きいのに、なぜか小さく見えたよ。

その時までは顔も名前も知らなくて。

今更かもしれないけど、正直に言ってもいいなら・・・・・・・・君と出会うことなく死にたかった。

その日から、私の生き方が変わりました。君、気づいてた？

毎日が、とにかく、とにかく、どうしようもなく、ただただ楽しかった。

それから少しして私たちは二人とも生まれて初めて手を繋いだね。

君の、大きくて、やさしくて、あったかくて、だけど力強い。

そんな手に私の手は今思うと包まれていたんだね。

きずけなかった。

気が付こうともしていなかった。

初めてけんかしたあの日。覚えてますか??

小さいことでけんかして・・・・・・・・。

でも謝ったのは私。

アナタと話せなかったのは、つらかったんだよ。

アナタもなのかなあ。

私、馬鹿だから分かんないや。ゴメン。馬鹿で。

私が、泣きながら電話したあの木曜日。覚えてる??

私は、学校で君の大嫌いな人と付き合うって約束しちゃったあの日。つらかったなあ。アン時、自分でいいっていったのに。

電話かけて、これからは普通の友達ね! って鼻声で。

泣いてたの、気が付いてた??

その電話がぷちんって切れた後にも、遊びに行ってまで泣いてた。

その時のその人、オロオロしてたよ?

ざまあみろ!!!!!!

かな? 君からしたら。

その数日後、遊んだ日にまた付き合って?

って私聞いたら、ニコって笑ってうん。

って行ってくれたよね。ありがとう。その日から、アナタのやさしさの気持ちが届くくらいに、私、受け取りました。

君だって、つらかっただろうに。。

本当にごめん。

気づけば今。

何気ないことですぐに壊れる関係。

でも、私、アナタが大好きだよ？

だって、きめたもん。

ずっと、ずっと、ずっと、アナタを好きでいるんだって。

神様に誓いました。

そうじゃなくても、多分、ずっと好きなんだろうケド。

どうしようもなく、あなたがかわいいから。

おや馬鹿？

そんな感じかな？

でも私最近ね、チョビツと、つかれたんだ。

もちろんアナタのこと昨日よりも好きだよ？

でもね、今、はなせないじゃんか？

最近仲いいあのコに勝てない気がして。

私よりも、そのこの方が、きっと一般的に見て、かわいいんだろうし、頭いいし。

スタイルいいし。

なによりその子のほうが私というよりか、楽しそうじゃん。

すきな？そのコ。

だったら、ちょうどいいじゃん。

ここらが、私と君、潮時かな？

バイバイハハ

大好きだよ？心配しなくたって。

死んじゃうくらいに。

気づいてよ。ねえ？

もしも、いま君がこの詩を見てたら、私の想いが伝わって、ラクなの
に。

世の中、、って不便だね。

もう一度コッチむいて笑ってよ。

もう一度、キスしてよ。

もう一度、手、繋ごうよ。

もう一度、もう一度、もう一度・・・。

もう一度、愛してよ。

毎日、毎日、なくの？

これからずっと？

いとしい君へのメッセージ。

君は・・・・・・・・

シアワセでしたか？

今までありがとう。

また明日から生きていこうね。

でも、あきらめないよ。

また、好きになってもらうからね。

だいたい、まだ好きでいてくれるかもだし^^

明日聞くね？

大好きだから。

・・・私より。・・・

(後書き)

読んでくれてどうもありがとう^^
ホントに当てた手紙。

長かったのにわざわざありがとう★
これからも私をヨロシク。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3266h/>

いとしい君へ

2010年10月11日02時47分発行